関西自然保護機構会報 *20*（*2*）：*121－122, 1998*

近畿地方から絶滅した植物 5[1)]

村 田 源[2)]

EXTINCT PLANTS FROM KINKI DISTRICT, JAPAN. 5

Gen MURATA

オオミコゴメグサ *Euphrasia insignis* Wettst. var. *omiensis*（Y. Kimura ex Hara）Yamazaki（図6）

オオミコゴメグサは滋賀県の比良山で田代善太郎が1927年9月24日に採集した標本に基いて木村陽二郎が研究し，*E. omiensis* Kimura として原寛によって発表された（原，1948；山中，1989）。タイプ標本は国立科学博物館にある。1927年9月17日にも橋本忠太郎によって比良山で採集されている。1925年9月26日に同所で，橋本忠太郎によって採集された標本が，京都大学及び滋賀大学教育学部の標本庫にある。極めて稀な植物で，滋賀県の比良山以外ではまだ知られていない。しかも上記以外ではまだ誰も採集した人はいないし，見たという話も聞いたことがない。比良山の武奈ヶ岳からの西南稜だと，採集者から聞いたので，現地付近を筆者及び谷元峰男，中井一郎らによって約20年ほど前に調査したことがあるが，発見できなかった。おそらく登山者が多くなって絶滅したのではないかと考えられるが，比良山系のどこかで誰にも知られずに生き残っているかも知れない。滋賀県植物誌（北村，1968）にも上記の標本が引用されている。図は京都大学に保存されている橋本忠太郎採集（Sept. 26, 1925）の標本から筆者が1968年に描いたものである。コゴメグサによく似ているが，葉の鋸歯が1－2対しかないので区別される。



図6 オオミコゴメグサ *Euphrasia insignis* Wettst. var. *omiensis*（Y. Kimura ex Hara）Yamazaki.
1. 全形，2,3. 葉，4. がく，5. 花.

コゴメグサ（広義）は日本の固有種である。そして各地で分化が進み，それぞれの地方で変異が固定していると考えられ，山崎敬（Yamazaki, 1956；Iwatsuki *et al.*, 1993）はミヤマコゴメグ

1）関西自然保護機構業績 第218号

2）〒615-8282 京都市西京区松尾大利町20-55

サ，トガクシコゴメグサ，ホソバコゴメグサ，マルバコゴメグサ，オオミコゴメグサ，マツラコゴメグサ，イブキコゴメグサ，キュウシュウコゴメグサ，トサコゴメグサをそれぞれその変種として取扱っている。

引用文献

Iwatsuki, K., T. Yamazaki & E. Boufford. 1993. Flora of Japan III a. Maruzen. Tokyo.

北村四郎編. 1968.「滋賀県植物誌」保育社. 大阪.

原　寛. 1948.「日本種子植物覧」第1冊. 岩波書店. 東京.（この出版物は扉に昭和23年（1948）と印刷してあるが，実際に出版されたのは1949年6月である. 山中，1989を見よ）

Yamazaki, T.（山崎　敬）. 1956. Euphrasia of Eastern Asia II, Acta Phytotax. Geobot. 19（4-6）: 164-172.

山中二男. 1989. 日本種子植物集覧第一冊の出版年. 植物研究雑誌 64: 61-62.